



いわき明星大学薬学部 第23回生涯学習研修会

「ヒスタミンと抗ヒスタミン薬に関する 最近の話題」

講師

東北大学大学院医学系研究科（機能薬理学分野）

教授 谷内一彦先生

講演概要

1936年にノーベル生理学・医学賞を受賞した Sir Henry Dale によりヒスタミンの作用が見出されて以来、現在までその生理的および病態的作用について多くの研究が行われている。さらに H1、H2 受容体拮抗薬を開発した Daniel Bovet、Sir James W. Black が、それぞれ 1957 年、1988 年にノーベル医学生理学賞を受賞し、人類に多大な貢献をしている。近年、遺伝子ノックアウトマウスが H1～H4 受容体、ヒスチジン脱炭酸酵素 (HDC)、ヒスタミン N-メチル転移酵素 (HNMT) で作成されており、さらに H1 受容体の X 線解析も報告されている。ヒスタミンはアレルギーの起因物質として考えると「悪玉」と考えられていたが、最近の研究からヒスタミンの生理作用は生体にとって有益であることが多い。花粉症やアトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患ガイドラインで中枢移行性の少ない非鎮静性抗ヒスタミン薬が推奨されている。本講演ではヒスタミンと抗ヒスタミン薬に関する最近の話題について紹介する。

日時 2019年3月7日(木) 19:00～20:30

会場 いわき明星大学薬学部棟 16-108 講義室

いわき市中央台飯野 5-5-1

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度（集合研修1単位）の認定を受けることができます。日病薬病院薬学認定薬剤師制度 1 単位 (V-2: 疾患・薬物療法) を申請中です。なお、日病薬病院薬学認定薬剤師制度と日本薬剤師研修センター研修認定の単位は、希望されるどちらか 1 種類のみ取得できます。

主催 いわき明星大学薬学部

共催 (財)日本薬剤師研修センター、福島県病院薬剤師会、(社)いわき市薬剤師会

問い合わせ

〒970-8551 いわき市中央台飯野 5-5-1

いわき明星大学薬学部 教授 櫻井映子

Tel 0246-29-5401 Fax 0246-29-5414

E-mail eikos-im@iwakimu.ac.jp